

新薬12成分21品目 薬価基準追補収載

画期的新薬メバロチン DDS化ダイタックも

厚生省は八月二十五日付官報で薬価基準の一部改正を告示し、新医薬品一二成分二品目を追補収載した。内訳は内服薬が四成分八品目、注射薬が五成分七品目、外用薬が三成分六品目で、うち九成分一七品目は今年六月三十日の中央薬事審議会常任部会承認分、残り三成分四品目は三月三十一日承認されたものの前回の追補収載で積み残しとなっていたもの。

今回収載された新薬のうち、国内開発品はメバロチン(細粒、錠)とダイタック静注の二つがあるが、特に画期的な新薬とし注目されているのが高脂血症治療剤のメバロチン。総コレステロールやLDLコレステロールを低下させ、HDLコレステロールを上げることで血清脂質を改善する効能をもつが、新規の作用機序により有効率は類似薬に比べ非常に高く、高い市場性が期待されている。前回の追補収載では薬価が折り合わず、今回に持ち越された。また非麻薬性の鎮痛剤ダイタック

ク静注は、成分的には珍しいものではないが、脂肪中に薬剤球を挿入し、炎症部位で効能を最大限に発揮させる、いわゆる“DDS化製品”として注目されている。テシプール錠は、オランダからの原体輸入によるうつ病・うつ状態改善薬。またカドラル錠とプレスモード錠はイタリヤから原体輸入した血圧降下剤で、末梢血管の伸縮により血圧を下げる。去痰剤ムコソルバンシロップは従来の錠剤や液剤を小児用シロップに、不整脈治療剤アスベノン注と本態性高血圧治療剤ヘルベッサ注射用とともに従来の内服薬を注射化したもの。

追補収載新薬は次の通り(薬効分類、一般名、商品名、規格単位、薬価、会社名)。

■内用薬

(一一七) マレイン酸セチプチリン

テシプール錠一略一錠

二九・一〇円

持田製薬

(一一四) カドラルジン

カドラル錠五mg(五略一錠)

六四・九〇円

同 一〇mg(二〇略一錠)

九九・三〇円

プレスモード錠五mg一錠(五略一錠)

六四・九〇円

同 一〇mg(二〇略一錠)

九九・三〇円

(一二三) 塩酸アンブロキシオール

ムコソルバンシロップ(〇・三%一ml)

二一・六〇円

(一二八) プラバスタチンナトリウム

メバロチン細粒(〇・五%一g)

一二七・四〇円

同錠(五略一錠)

一二七・四〇円

■注射薬

(一一四) フェルビナクエチル

ダイタック静注(六〇略三ml一管)

三八四円

(一二二) 塩酸アプリンジン

アスベノン注(五〇略五ml一管)

七〇四円

同(一〇〇略一〇ml一管)

一三二四円

三井製薬工業

(一二七) 塩酸ジルチアゼム

ヘルベッサ注射用一〇(一〇略一管)

七二〇円

同五〇(五〇略一管)

三〇四四円

(四三二) エキサメタジム

セレテック「注射用」(一回分)

二万七二〇円

(四三二) ヒト血清アルブミンジ

エチレントリアミン五酢酸テク

ネチウム(九九mTc)

プーリンシチ注(一mCi)

三〇四一円

■外用薬

(一二二) ノルフロキサシン

バクシダール点眼液(〇・三%一ml)

一九七・三〇円

ノフロ点眼液(〇・三%一ml)

一九七・三〇円

(一二三) ホスホマイシンナトリウム

耳科用ホスミシンS(三〇略一ml、溶解後の液として)

一三九・五〇円

(二六四) スプロフェン

スプロロチン軟膏(一%一g)

五〇・二〇円

大洋薬品工業

スレンジム軟膏(一%一g)

五〇・二〇円

科薬

トバルジック軟膏(一%一g)

五〇・二〇円

日本ルセル

平成元年度糖尿病 調査研究事業決まる

厚生省の平成元年度糖尿病調査研究事業(総額一億五〇〇〇万円)がこのほど決まった。

それによると今年度は、虎ノ門病院長の小坂樹徳氏を総合研究班長として、①糖尿病の発症機序の解明に関する研究、②糖尿病の合併症の予防と治療に関する研究に分けて、③疫学研究班(班長赤澤好温国立京都病院医長、④糖尿病の発症機序研究班(班長小坂樹徳虎ノ門病院院長)、⑤糖尿病の治療研究班(班長平田幸正東大医大糖尿病センター長、⑥糖尿病の合併症研究班(班長後藤由夫東北厚生年金病院院長)の四班で研究が進められることになっている。

なお⑤の糖尿病の合併症研究班には、三つの分科会(糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症、糖尿病性神経障害)が設けられている。